

和歌山県

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた
平成29年度の目標とその達成状況

目標：1. 県全体の課題について、継続的に共有、検討する場の設定

【達成状況】

地域移行関連事業連絡会を年3回開催し、事業の進捗や課題共有を継続的に実施している。また、県障害福祉課と圏域自立支援協議会精神関連部会との連携強化のため、平成29年5月～8月にかけて、全8圏域を回り、意見交換を行っている。

ただし、県全体の課題解決に向けた具体的な取組についての協議や検討までは実施できていない（平成30年1月現在）。

目標：2. 地域の支援体制整備の強化（精神障害にも対応できる地域包括ケアシステムの構築）

【達成状況】

「障害保健福祉圏域毎の保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置」、「ピアサポートの養成研修・活動費の支援」、「アウトリーチ」、「長期入院精神障害者の退院意欲の喚起を目的とした働きかけ」、「精神障害者の地域移行関係職員に対する研修会」などについては実施できている。

目標：3. 県全体、市町村別の地域移行・地域定着支援などの利用状況の把握

【達成状況】

平成26年～平成28年にかけての市町村・圏域別の地域移行・地域定着支援の支給決定状況を把握するための調査を実施済み。

平成30年度の実行方針

1. 圏域自立支援協議会と連携し、圏域および県全体の課題を共有し、それらの課題解決に向けた検討を実施していく。
2. 地域の支援体制整備の強化（精神障害にも対応できる地域包括ケアシステムの構築）の一環として、住まいの場の確保に向けた取組を展開していく。
3. 障害保健福祉圏域・市町村別の地域移行・地域定着支援などの利用状況を把握していくとともに、地域移行支援サービスを利用しない退院支援の実態把握に努める。